

“地域のことは地域で考えよう”

〒900-0013 那覇市牧志1丁目3番45号 3階 電話 (098) 869-8711  
2024年9月27日

各 位

株式会社 おきぎん 経済研究所

「第97回おきぎん企業動向調査」  
(2024年7-9月期) 調査結果

※ お気づきの点、不明な点などがございましたら、ご遠慮なく下記までご連絡ください。

・担当：新垣

問い合わせ先：(電話：098-869-8711 ファクシミリ：098-869-2200

メール：oei-corp@okinawa-bank.co.jp)

現場主義とお客さまからの信頼

# 第 97 回おきぎん企業動向調査（2024 年 7-9 月期）調査結果

～県内（地域・業種別）の経営環境と業況感～

## I. 調査概要

- 本調査では各企業の業況感や経営状況項目などについて、企業経営者の主な判断(当期実績、来期見通し)を景気動向指数 DI として取りまとめる四半期調査です。

【調査時期】	2024 年 8 月下旬～9 月中旬
【調査対象】	県内企業 227 社回答
【調査方法】	WEB アンケート調査
【調査内容】	①業況 ②売上高 ③売上単価 ④仕入単価 ⑤採算 ⑥引き合い ⑦雇用 ⑧設備・その他投資需要

### —おきぎんDIとは—

主に企業経営者の業況などに関する実績判断や見通しを「好転・上昇・増加」、「不変(変わらない)」、「悪化・低下・減少」のいずれかでお答えいただき、各割合を表したものです(本レポートでは「悪化・低下・減少」はマイナス表示を使用)。

雇用に関しては、「過剰・適正・不足」でお答えいただき、「不足」はマイナス表示を使用。

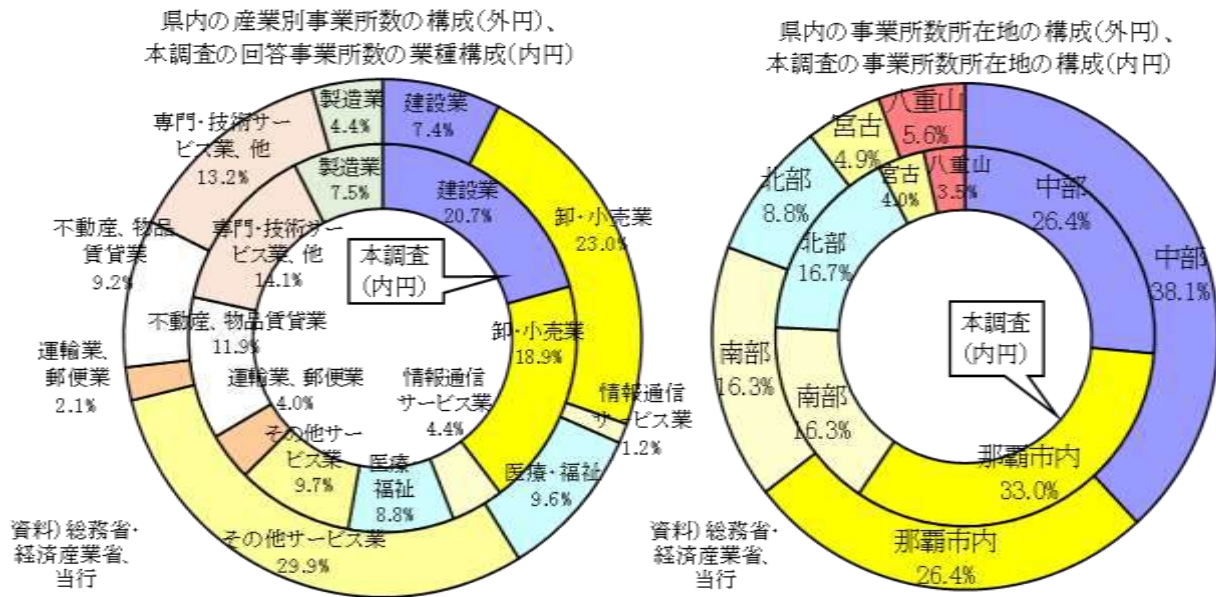
①「好転・上昇・増加」+「不変(変わらない)」+「悪化・低下・減少」=100%

②DI(景気動向指数) = 「好転・上昇・増加」の割合(%) - 「悪化・低下・減少」の割合(%)

従って、DIがプラスなら景気が良い(または上昇見込み)、マイナスなら悪い(または下降見込み)、と捉えます。

### ➤ 調査対象企業の業種・所在地構成

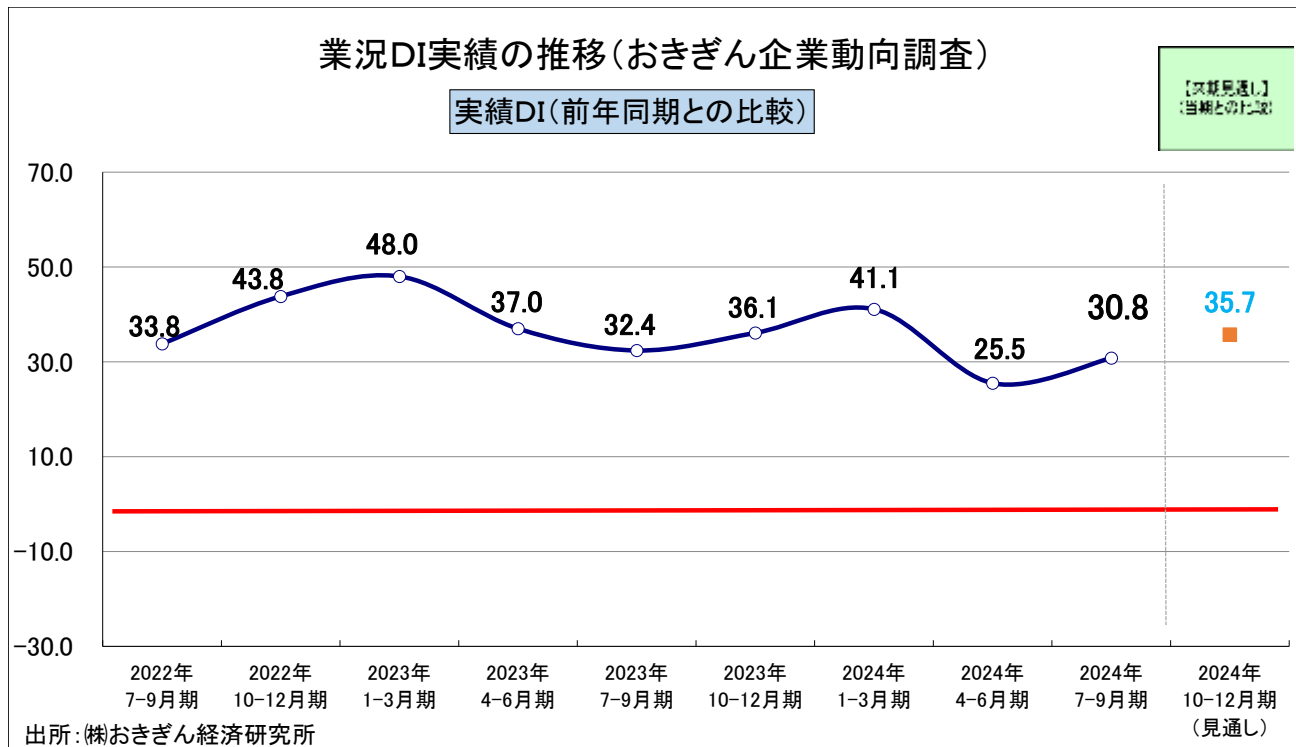
本調査の業種構成を県内事業所データ(令和3年経済センサス活動調査)と比べると、【建設業(本調査では土木・建築業)】はサンプリング数が多く、【その他サービス業(宿泊、飲食サービス業、生活関連サービス業、娯楽業など)】はサンプリング数が少なくなっています。



## II. 調査結果（総論）

- 当期の業況DIは 30.8(前年同期比)となり、12 期連続でプラスとなりました。来期の業況見通しDIは 35.7(当期比)となり、引き続き業況改善の動きが見込まれます。業況DI実績の推移について、コロナ禍からの回復が落ち着き下降気味にあるものの、高い水準で推移しています。

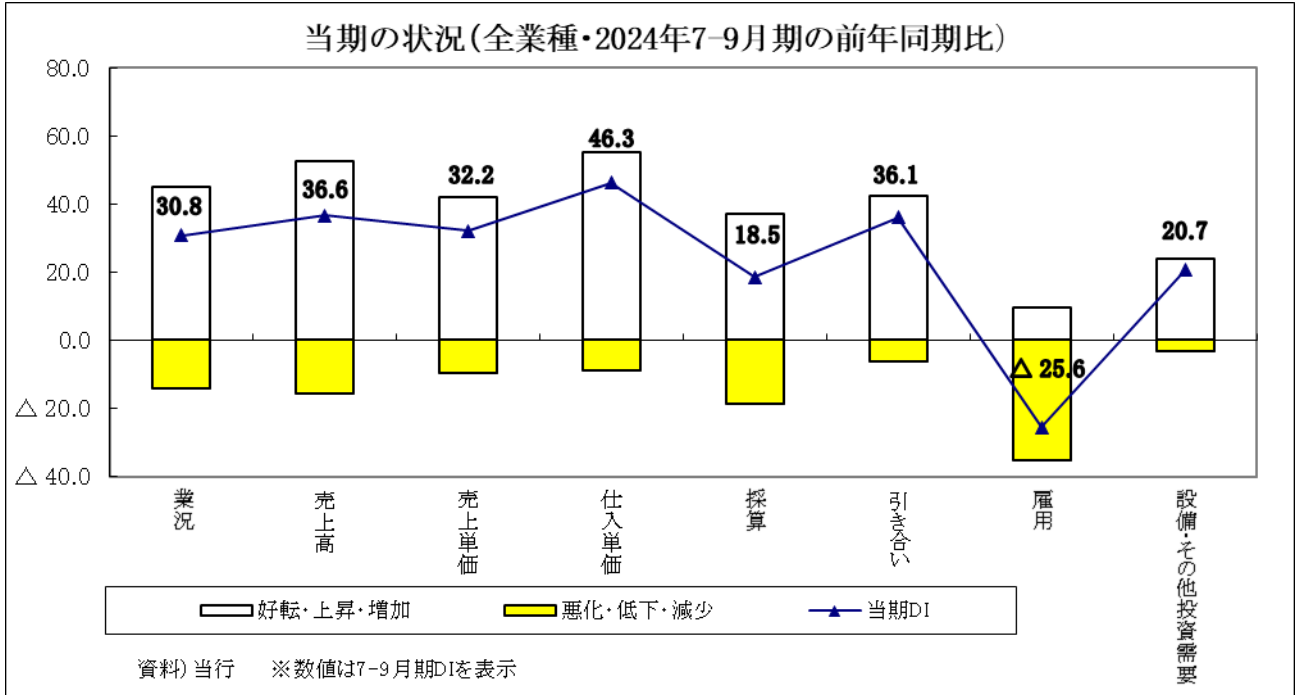
【業況DIの推移】	2023年			2024年			
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期見通し
項目	前年同期比DI	前年同期比DI	前年同期比DI	前年同期比DI	前年同期比DI	前年同期比DI	前期比DI
<b>全業種</b>	<b>37.0</b>	<b>32.4</b>	<b>36.1</b>	<b>41.1</b>	<b>25.5</b>	<b>30.8</b>	<b>35.7</b>
製造業	42.9	41.9	40.0	52.0	37.0	29.4	47.1
土木業	△ 3.0	0.0	30.8	22.2	△ 15.4	61.5	46.2
建築業	36.4	33.3	41.2	51.2	17.1	32.4	26.5
卸売業	20.0	21.2	38.5	24.0	21.4	13.6	36.4
小売業	41.2	32.4	17.4	6.5	△ 19.0	28.6	33.3
情報通信サービス業	△ 8.3	16.7	100.0	0.0	14.3	20.0	50.0
医療・福祉	23.1	18.2	54.5	42.3	27.8	10.0	35.0
その他サービス業(宿泊・飲食等)	83.8	69.0	69.7	58.6	44.0	68.2	50.0
運輸業、郵便業	77.8	71.4	0.0	75.0	37.5	55.6	77.8
不動産業、物品賃貸業	33.3	33.3	17.2	48.8	58.6	18.5	22.2
専門・技術サービス業、他	44.7	17.6	11.8	56.7	26.3	25.0	21.9



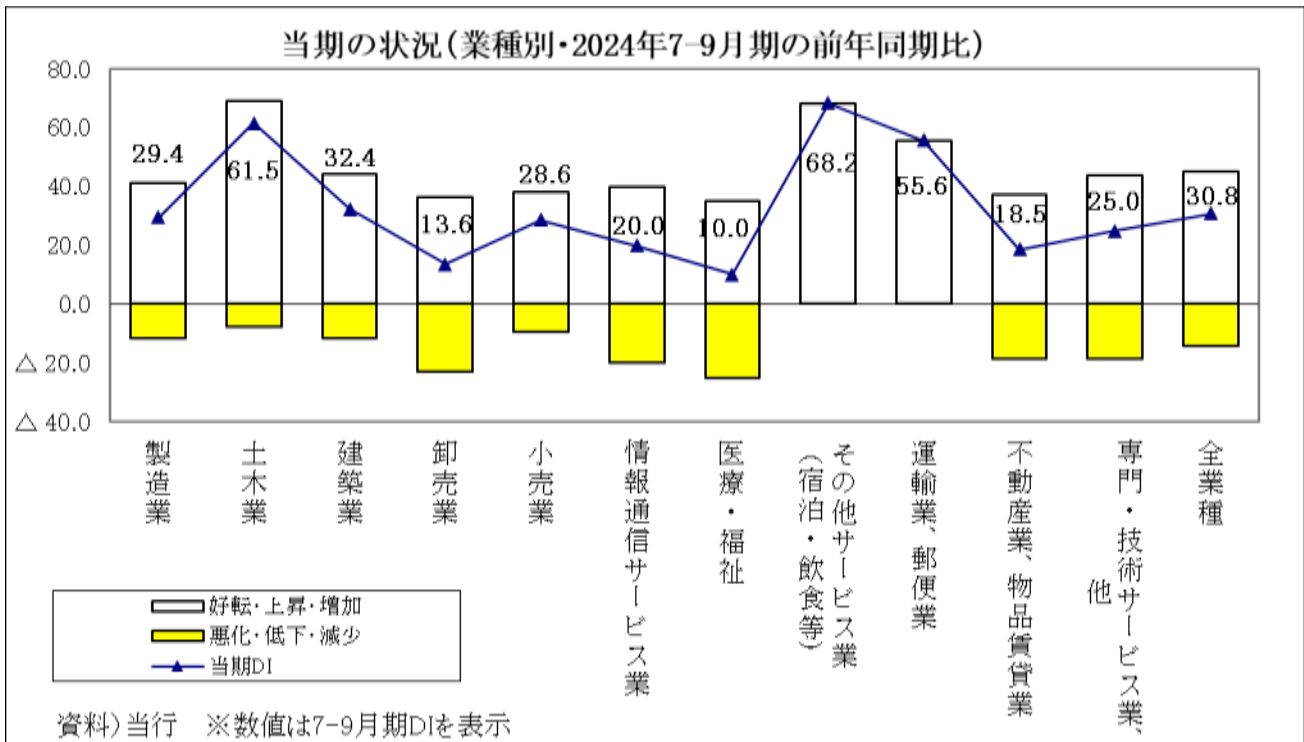
※「2024年10-12月期(見通し)」35.7については、今期(2024年7-9月期)との比較であり、前年同期との比較ではありません。このため折れ線グラフは連続していません。

## 1. 当期の状況（2024年7-9月期の前年同期比）

- 当期の業況DIは **30.8** となり、業況改善がみられます。項目別では、売上高(36.6)や引き合い(36.1)などの項目でプラスとなりました。採算(18.5)は仕入単価(46.3)上昇により他項目と比較しポイントは低くなっています。雇用(△25.6)はマイナスとなっており、不足感が続いています。

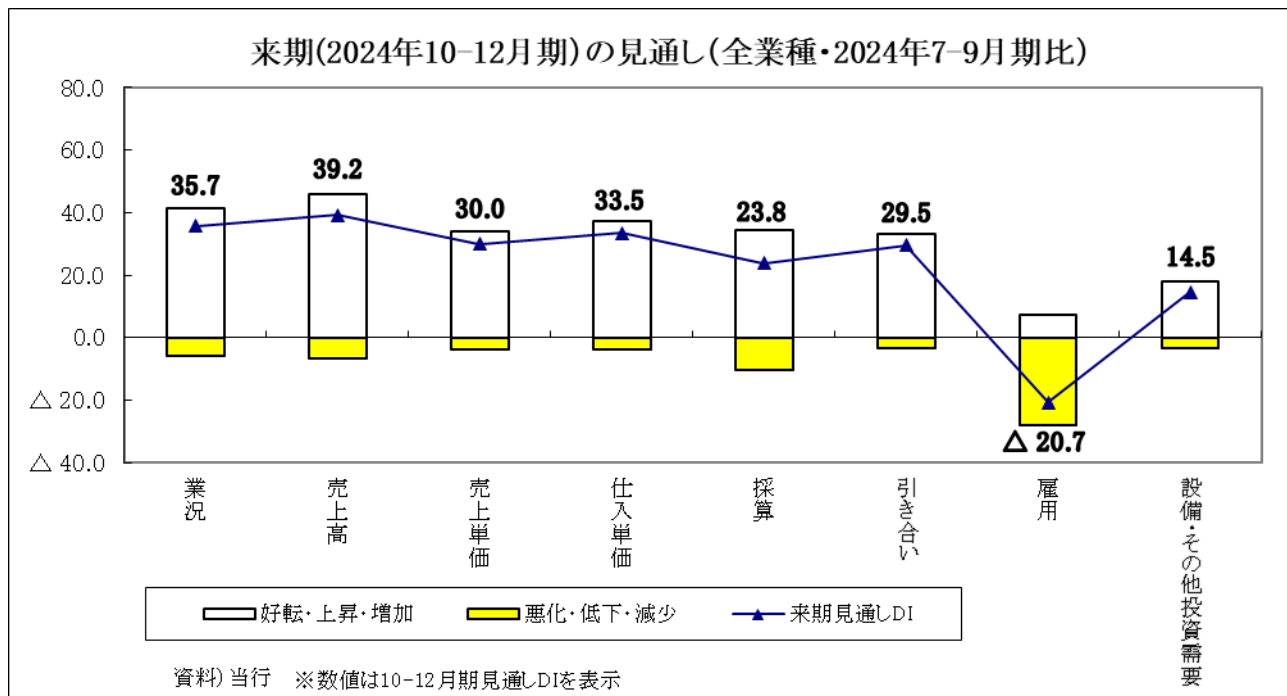


- 業種別では、価格転嫁の進行などにより全業種においてプラスとなりました。【**【その他サービス業(宿泊・飲食等) (68.2)】**や**【土木業(61.5)】**、**【運輸業、郵便業(55.6)】**などでポイントは高くなっています。一方、**【医療・福祉(10.0)】**や**【卸売業(13.6)】**などでポイントは低くなっています。

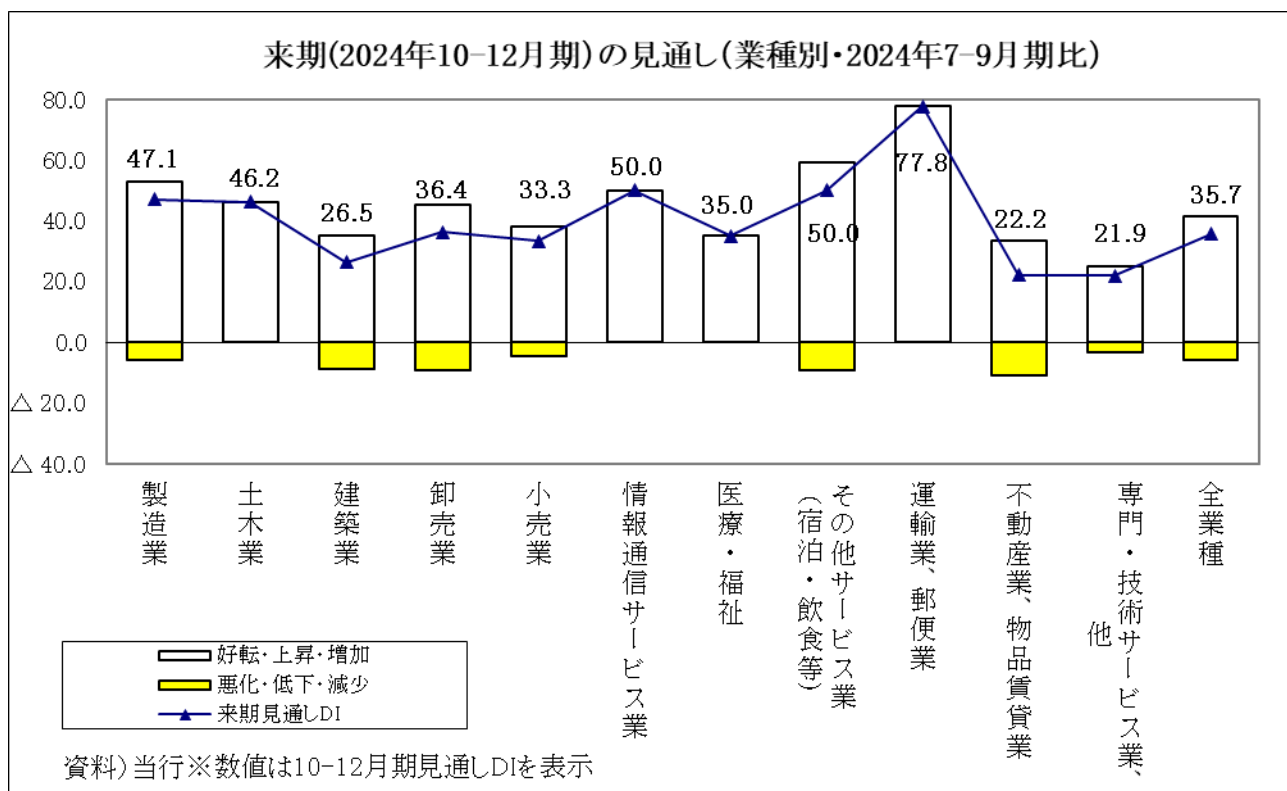


## 2. 来期の見通し（2024年10-12月期の当期比）

- 来期の見通し業況DIは35.7となり、引き続き業況改善の動きが見込まれます。項目別では、売上高(39.2)や採算(23.8)、引き合い(29.5)などで改善の動きが見込まれます。雇用(△20.7)は不足感が続く見通しとなっています。

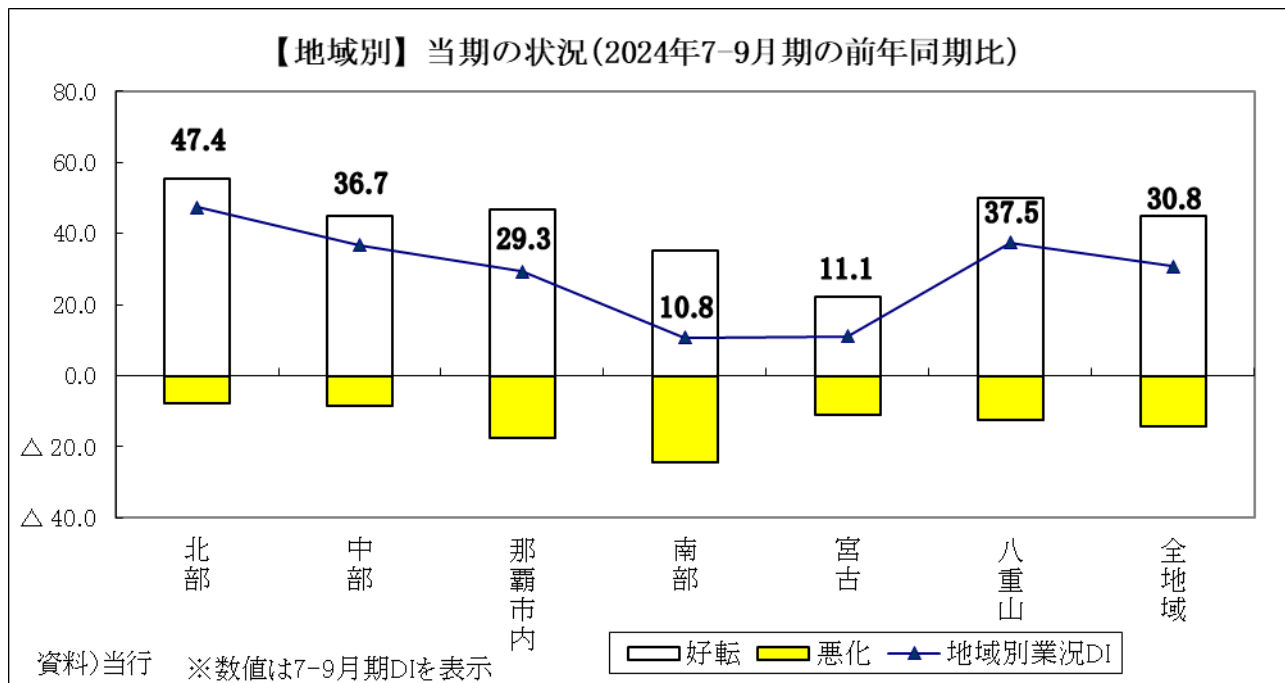


- 業種別では、全業種においてプラスとなりました。【運輸業、郵便業(77.8)】や【その他サービス業(宿泊・飲食等)(50.0)】は観光客を含めた人流や物流の活性化などにより、ポイントは高くなっています。

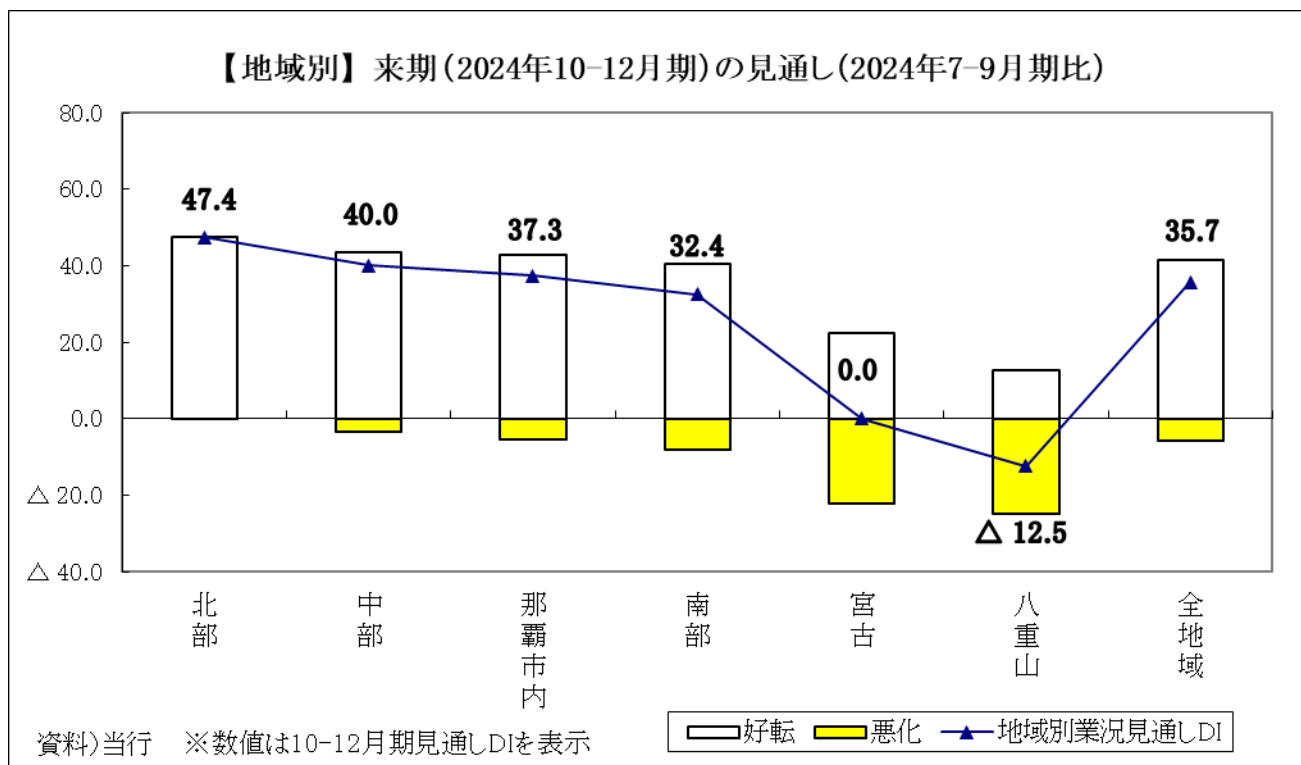


### 3. 地域別の業況 DI

- 当期の地域別 DI(前年同期比)は、全地域において業況の改善がみられます。北部(47.4)は観光関連産業の回復や基地関連の工事受注増加などからポイントは高くなっています。一方、宮古(11.1)は前年同期と比較した際の公共工事等の落ち着きにより他地域と比較しポイントは低くなっています。



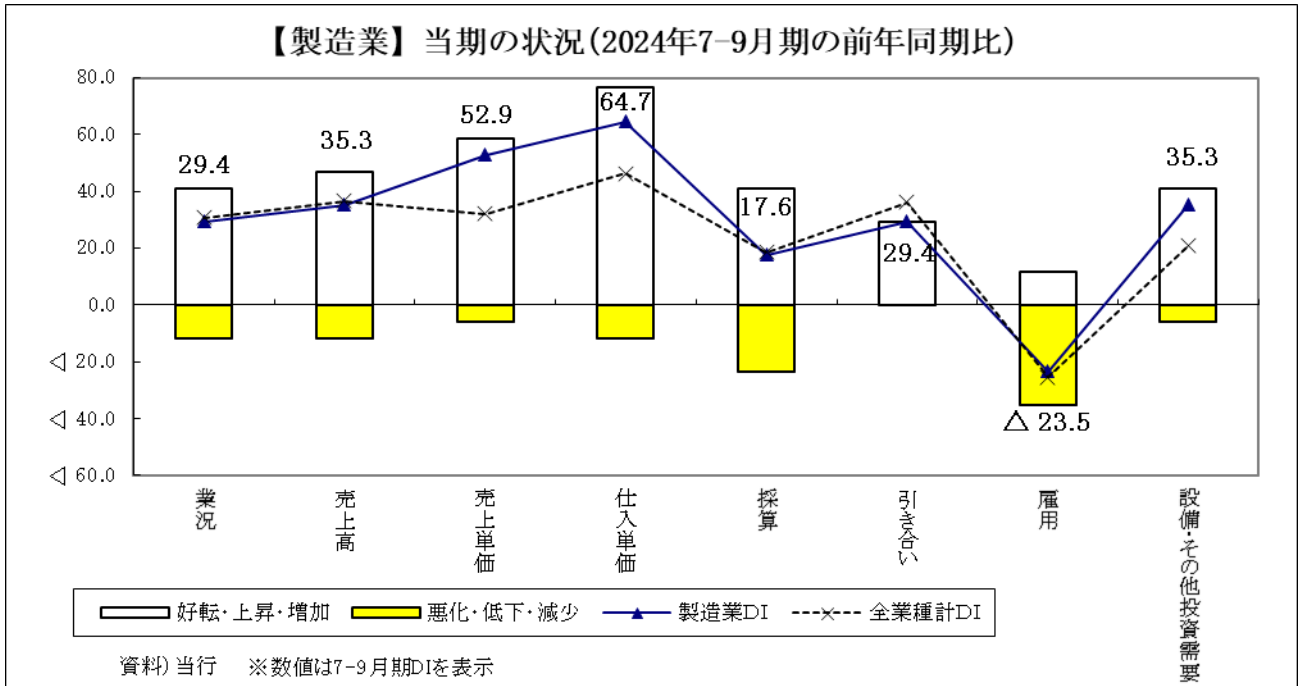
- 来期の地域別見通し業況 DI(当期比)について、北部(47.4)は公共・民間工事の受注増加見込みなどからプラスとなっています。八重山(△12.5)は業況の同様推移を見込む事業者が多いことや、観光シーズン終了の季節要因などからマイナスとなっています。



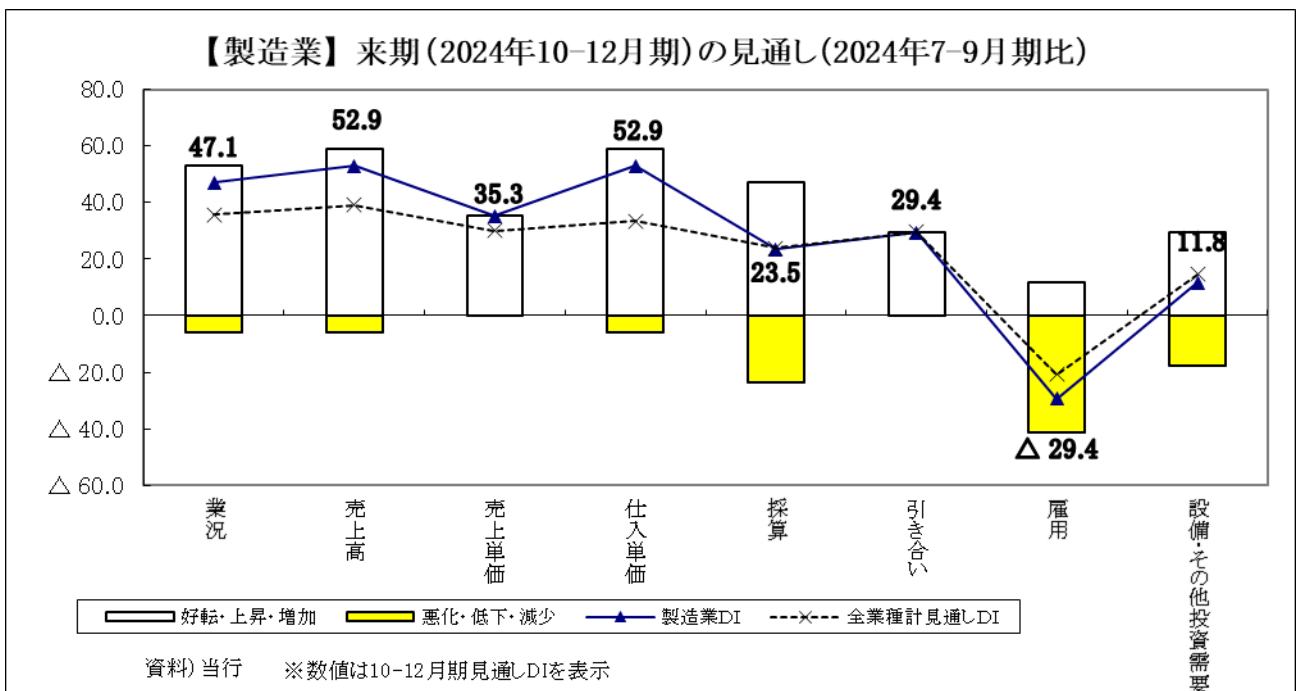
### Ⅲ. 調査結果（各論）

#### 1. 製造業（回答企業：17社）

- ▶ 当期の業況DI(前年同期比)は**29.4**となりました。価格転嫁により採算(17.6)を確保した事業者がみられます。また、観光需要の回復により食料品製造業などで業況改善がみられます。雇用(△23.5)はマイナスとなり、不足感がみられます。設備・その他投資需要(35.3)は他業種と比較しポイントは高くなっています。

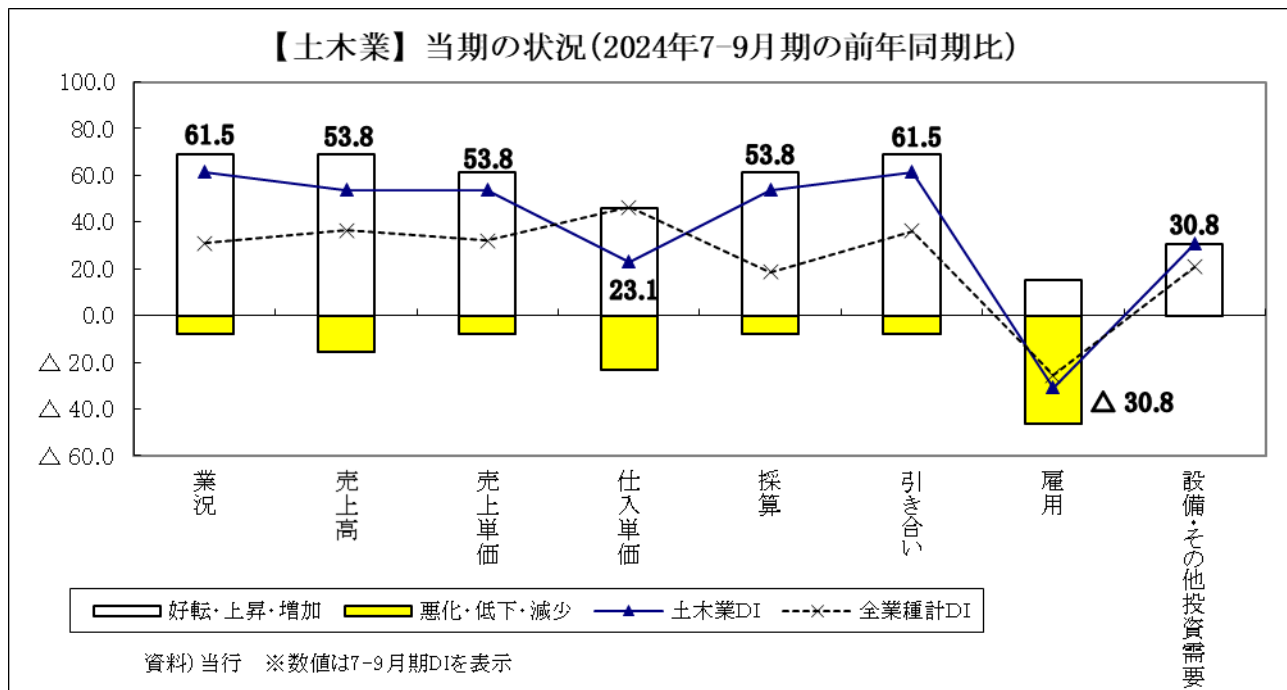


- ▶ 来期の見通し業況DI(当期比)は**47.1**となりました。引き続き観光需要の回復や適切な価格転嫁などから業況改善が見込まれています。雇用(△29.4)はマイナスとなり、不足感が続く見通しとなっています。

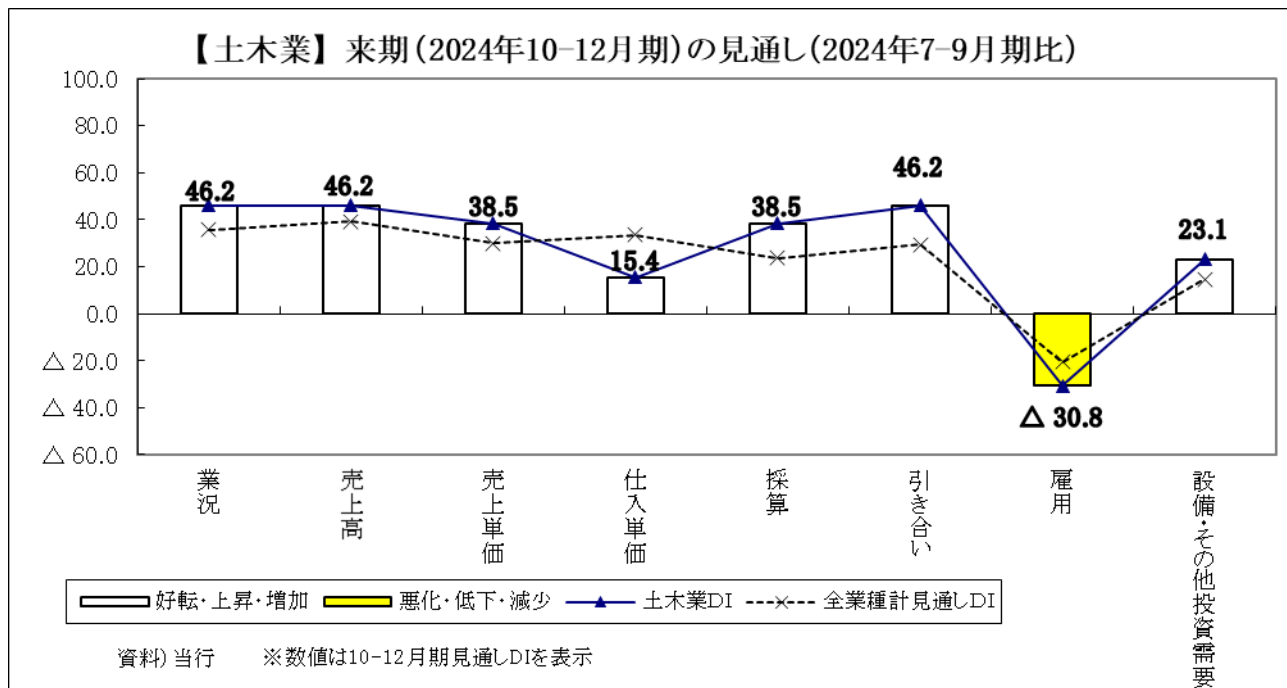


## 2. 土木業（回答企業：13社）

- 当期の業況 DI(前年同期比)は公共工事の受注増加などから **61.5** となり、業況改善がみられます。また、売上単価(53.8)の上昇により採算(53.8)は確保されており、価格転嫁の進行がみられます。雇用(△30.8)は技術者不足などからマイナスとなっています。



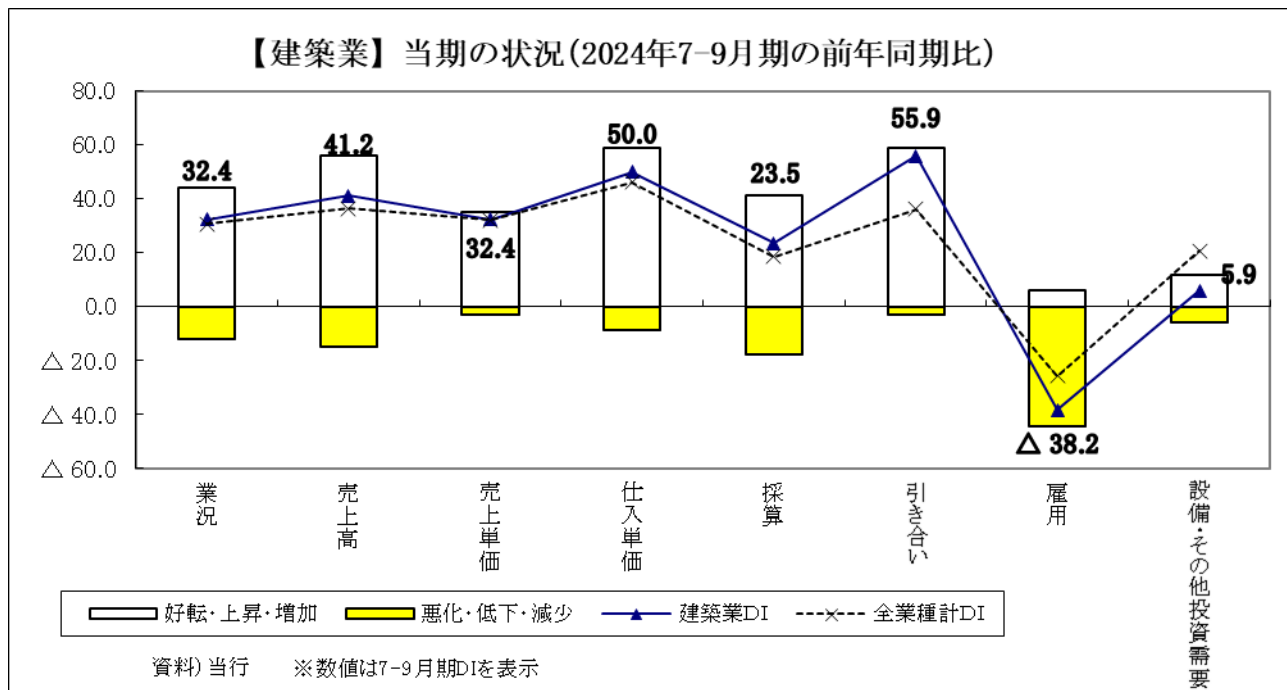
- 来期の見通し業況 DI(当期比)は **46.2** となりました。工期の長い公共工事の受注や、基地関連の工事受注増加見込みなどにより、業況改善が見込まれています。雇用(△30.8)は不足感が続く見通しとなっています。



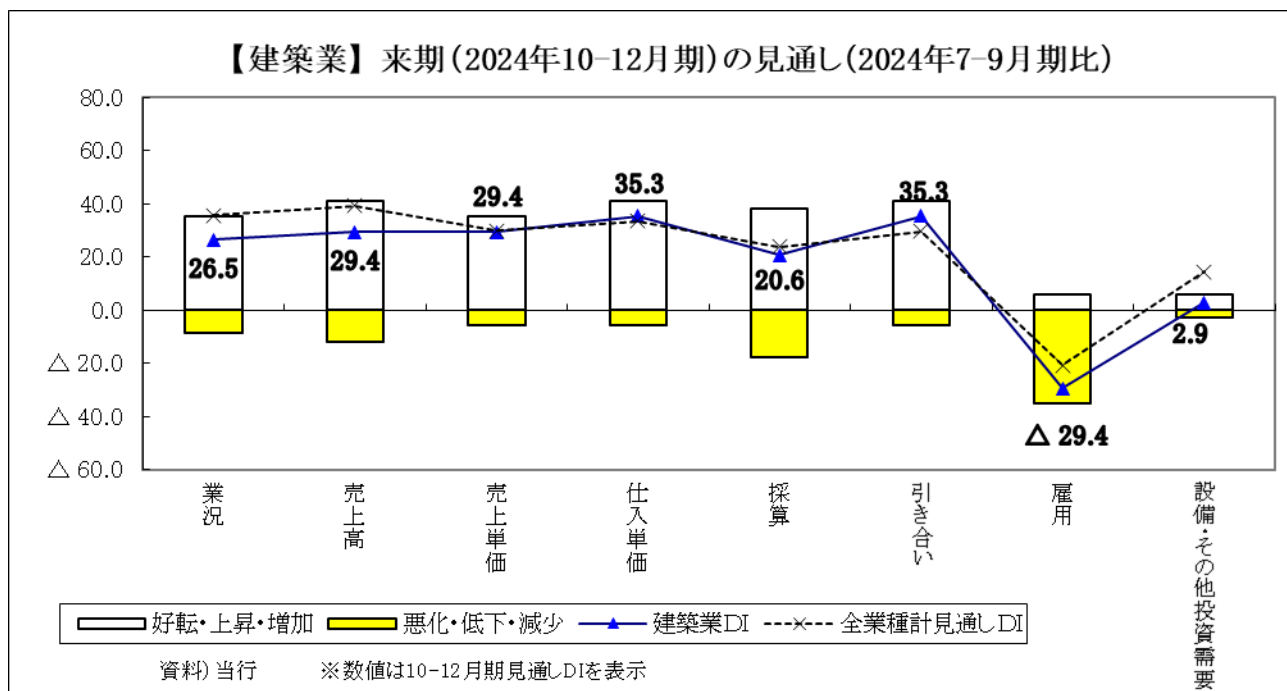


### 3. 建築業（回答企業：34社）

- 当期の業況DI(前年同期比)は公共・民間工事の受注増加などから**32.4**となり業況改善がみられます。一方、原材料費や人件費高騰により採算(23.5)は悪化した事業者も一部みられます。雇用(△38.2)は、他業種よりも不足感がみられます。

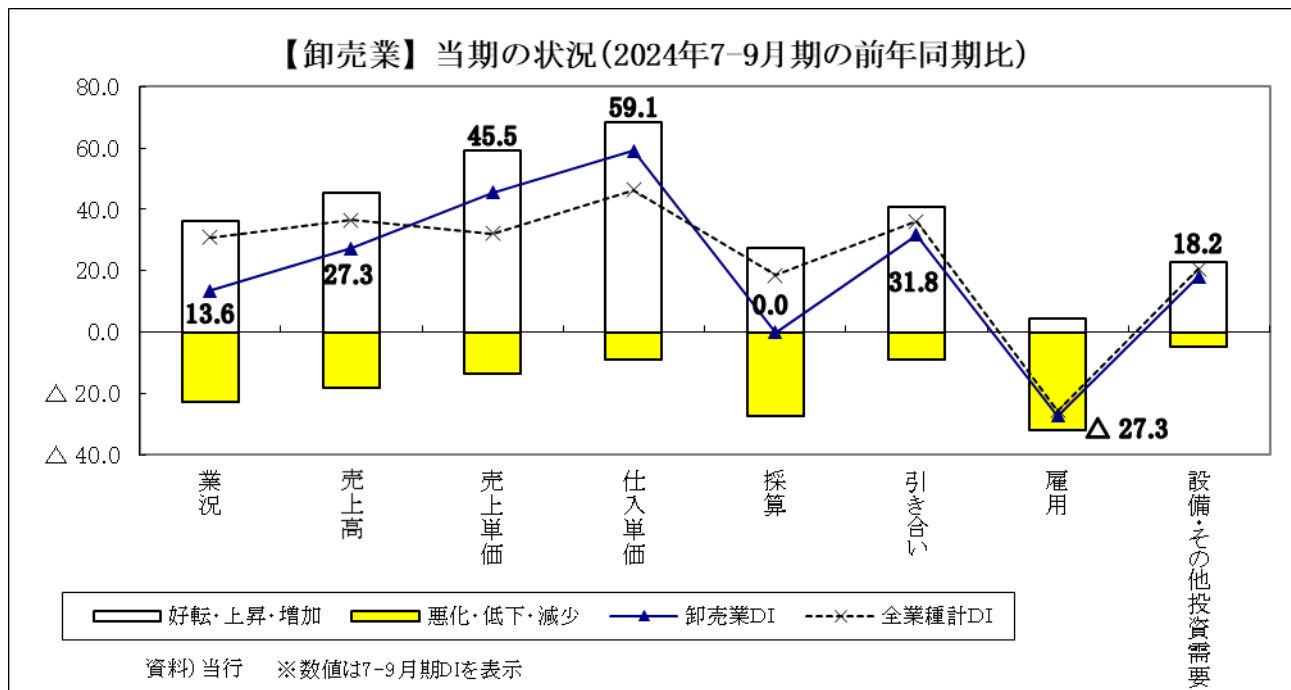


- 来期の見通し業況DI(当期比)は公共・民間工事の受注増加などから**26.5**と、業況改善の動きが見込まれます。雇用(△29.4)は、不足感が続く見通しとなっています。

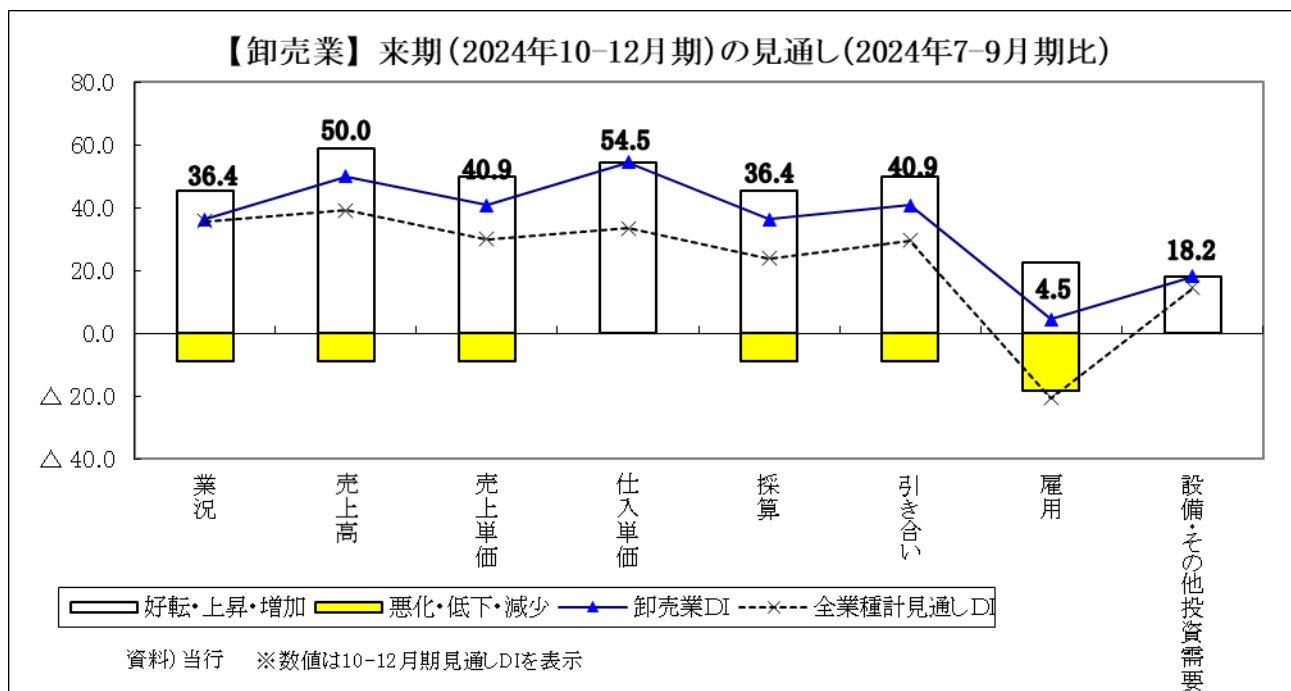


#### 4. 卸売業（回答企業：22社）

- 当期の業況 DI(前年同期比)は **13.6** となりました。食料品や観光土産品などの卸売は、改善した事業者がみられます。一方、建設資材などの卸売は、仕入価格高騰や輸送費増加から採算悪化した事業者がみられます。雇用(△27.3)は不足感がみられます。

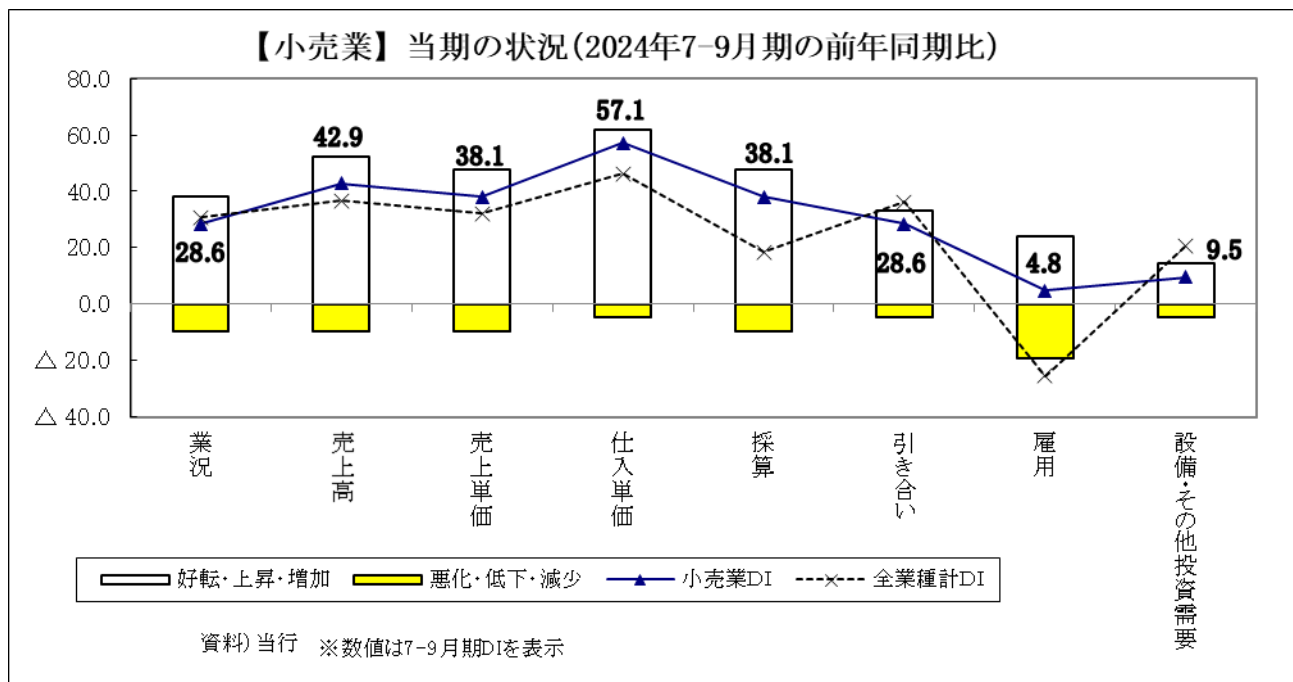


- 来期の見通し業況 DI (当期比)は **36.4** となり、業況改善の動きが見込まれます。観光関連産業の回復や建設資材の需要増加などにより、改善を見込む事業者がみられます。

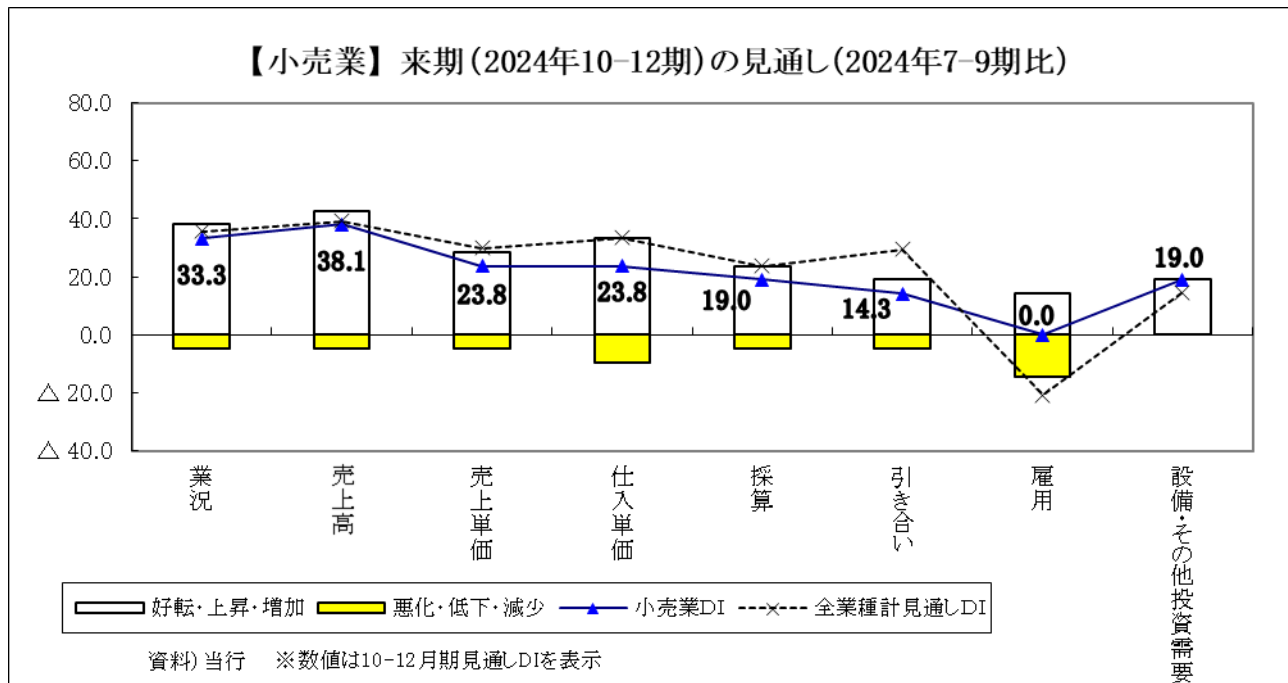


## 5. 小売業（回答企業：21社）

- 当期の業況DI(前年同期比)は**28.6**となりました。観光客増加などによる顧客増加や、売上単価(38.1)上昇による採算(38.1)の改善などがみられます。

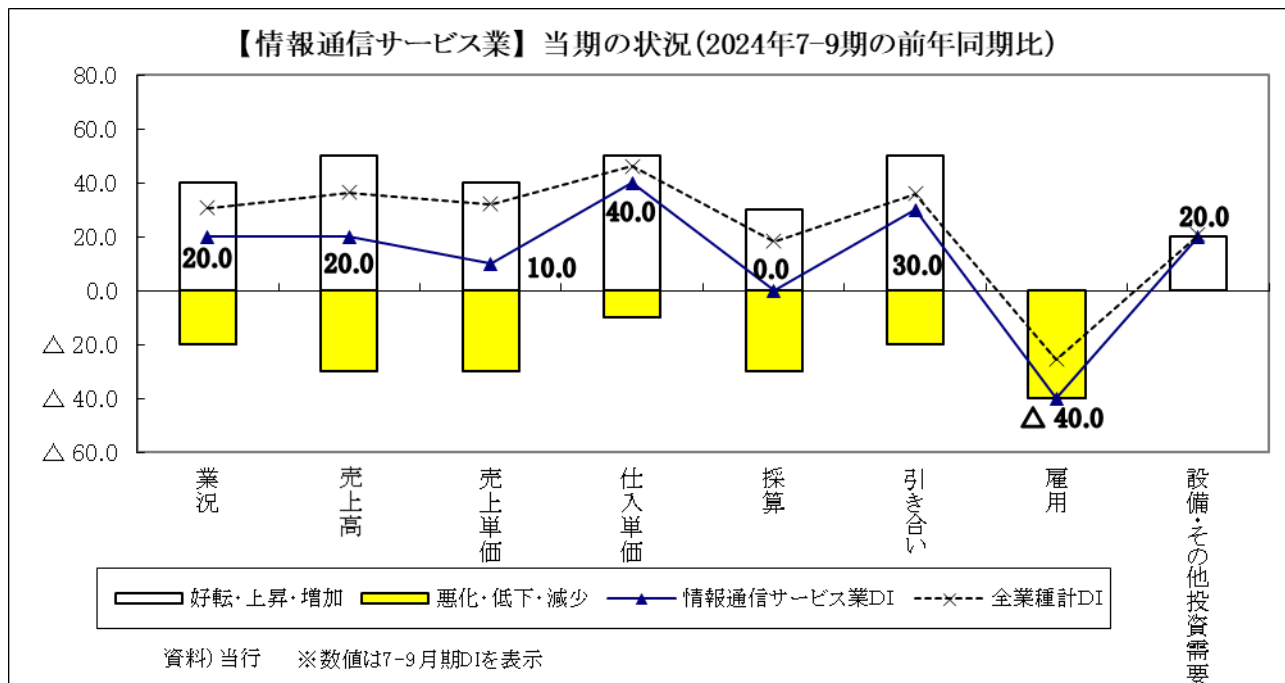


- 来期の見通し業況DI(当期比)は**33.3**となりました。観光客増加などによる顧客増加や、価格転嫁の進行により業況改善の動きが見込まれます。

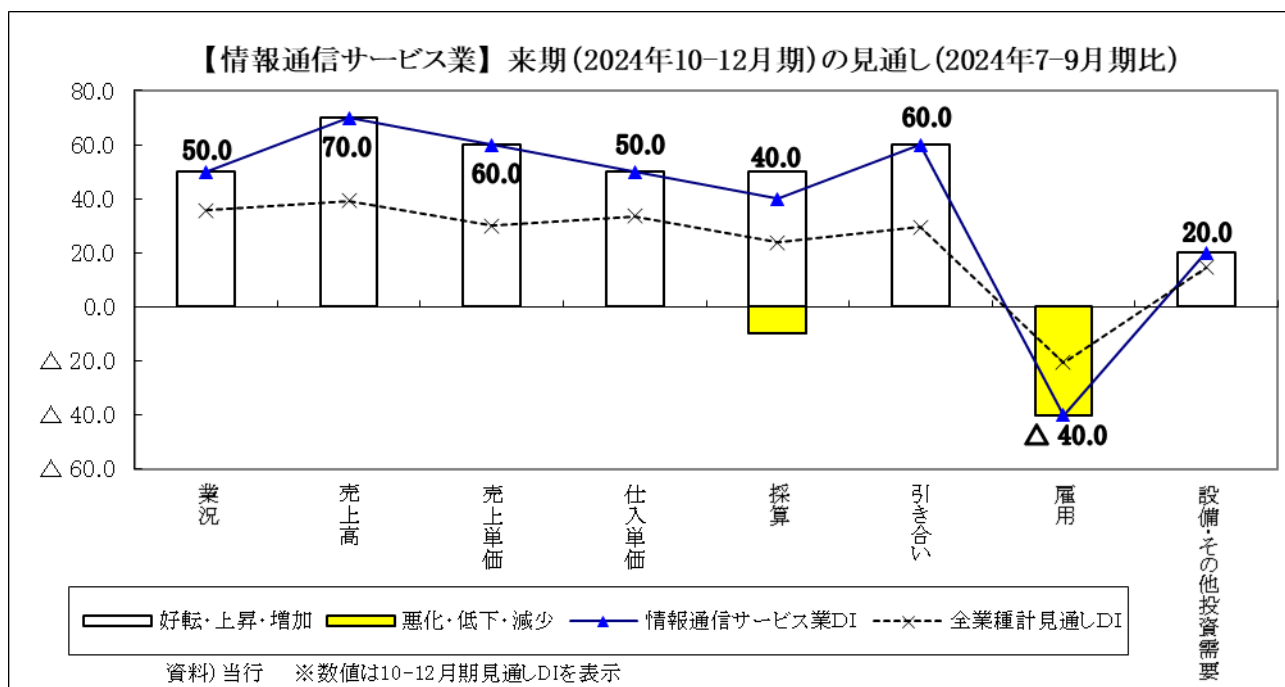


## 6. 情報通信サービス業（回答企業：10社）

- 当期の業況 DI(前年同期比)は 20.0 となりました。イベント増加により、映像制作の受注が増加した事業者がみられます。一方、取引先の広告需要の落ち着きなどから、業況悪化した事業者もみられます。雇用(△40.0)は不足感がみられます。

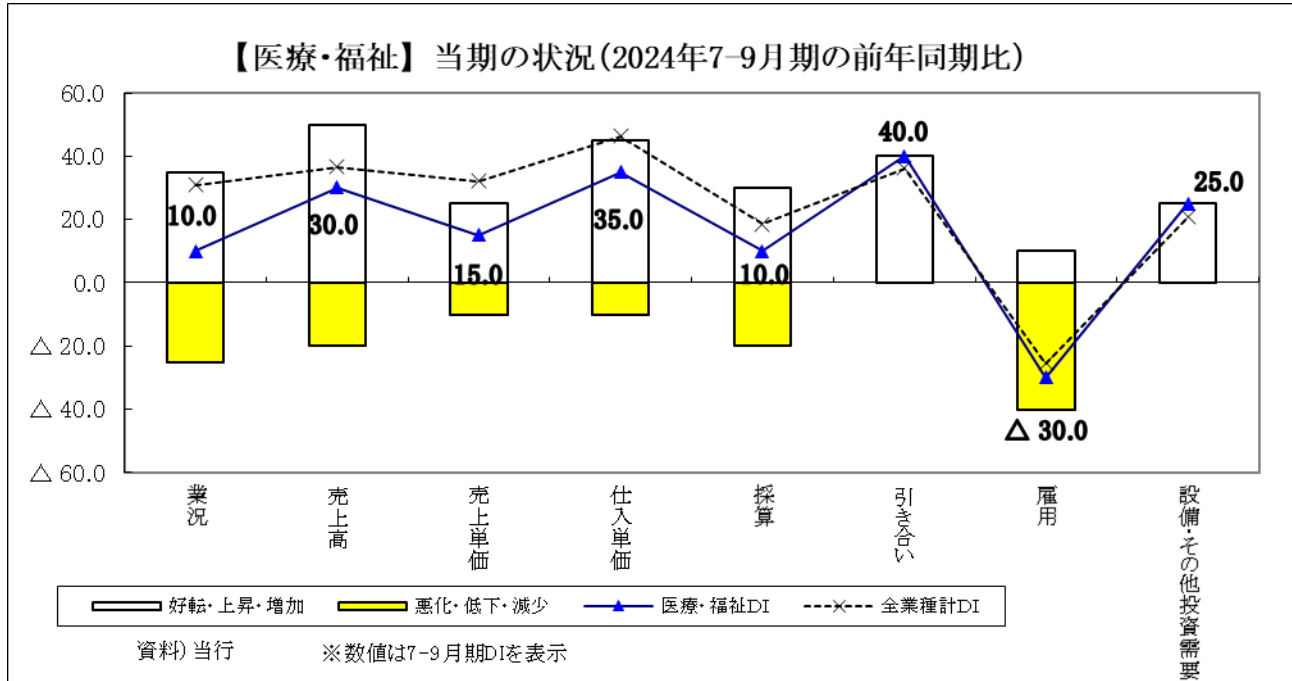


- 来期の見通し業況 DI(当期比)は 50.0 となりました。新たな事業への取り組みなどから受注増加を見込む事業者がみられます。雇用(△40.0)は不足感が続く見通しとなっています。

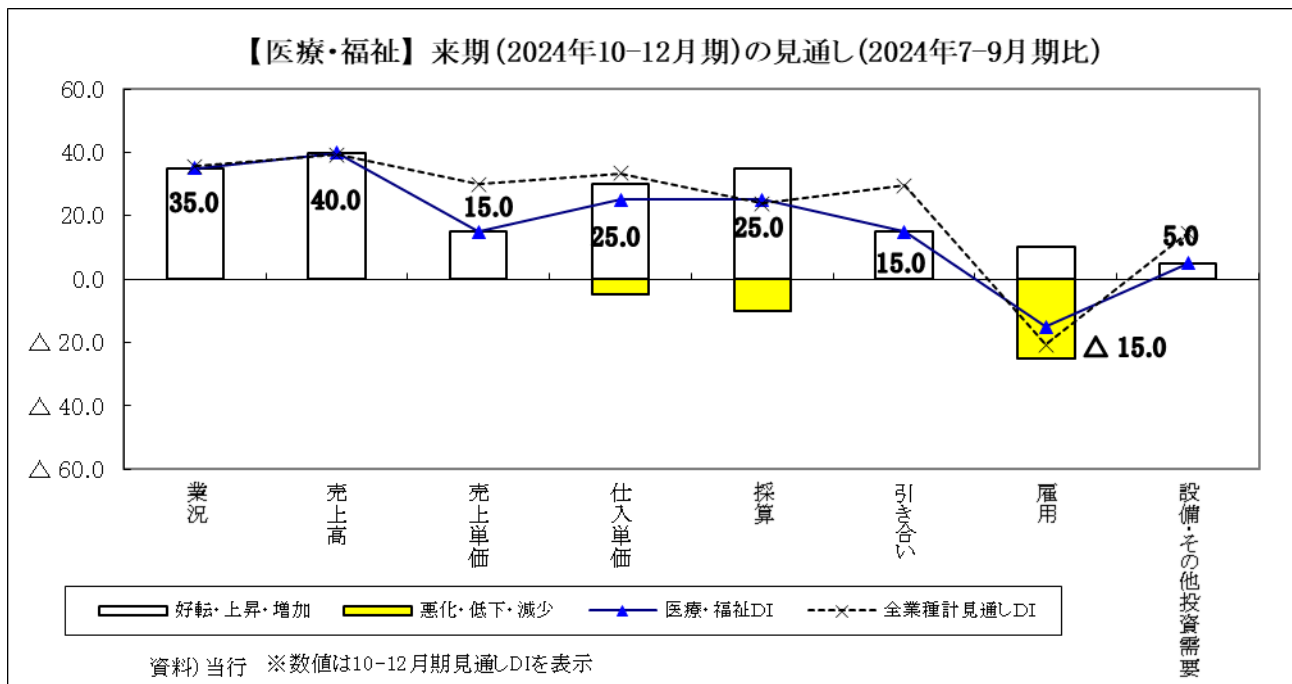


## 7. 医療・福祉（回答企業：20社）

- 当期の業況 DI(前年同期比)は 10.0 となりました。介護事業者においては、利用者が安定している事業者の一方、従業員不足による機会損失や食材費上昇などにより採算が悪化した事業者もみられます。雇用(△30.0)は、不足感がみられます。



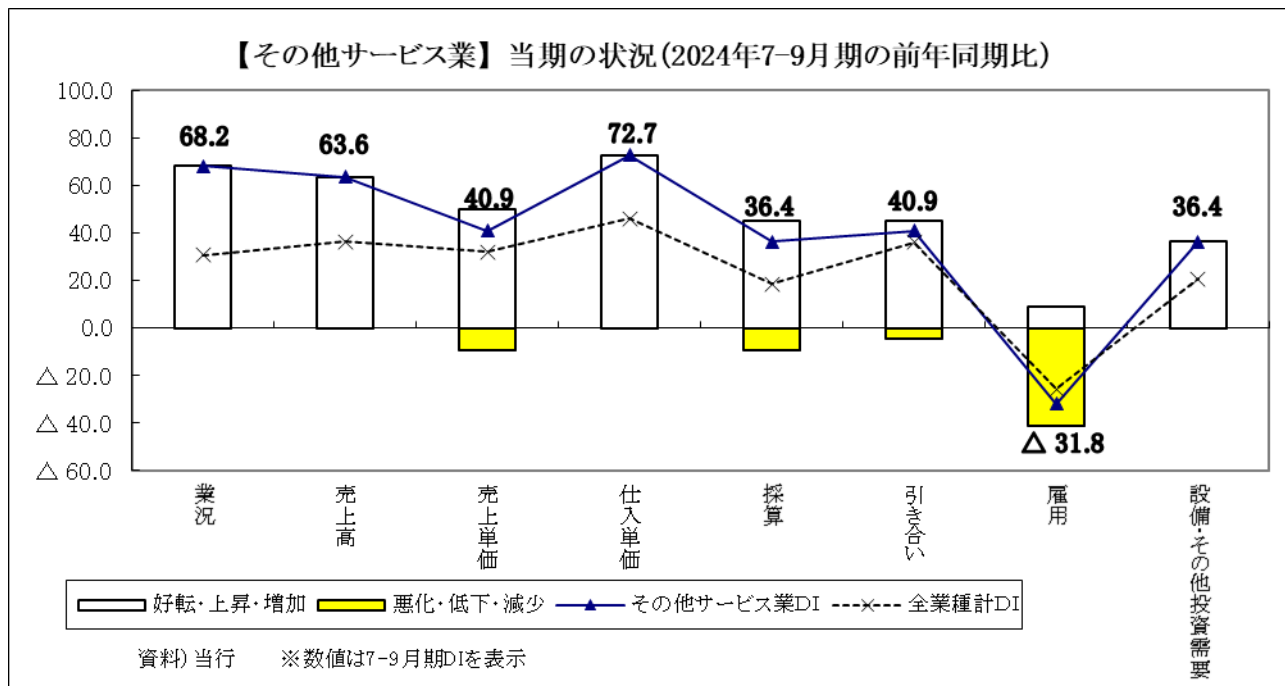
- 来期の見通し業況 DI(当期比)は 35.0 となり、業況改善の動きが見込まれます。介護事業者やクリニック、児童福祉事業者などにおいて安定した利用者確保が見込まれています。



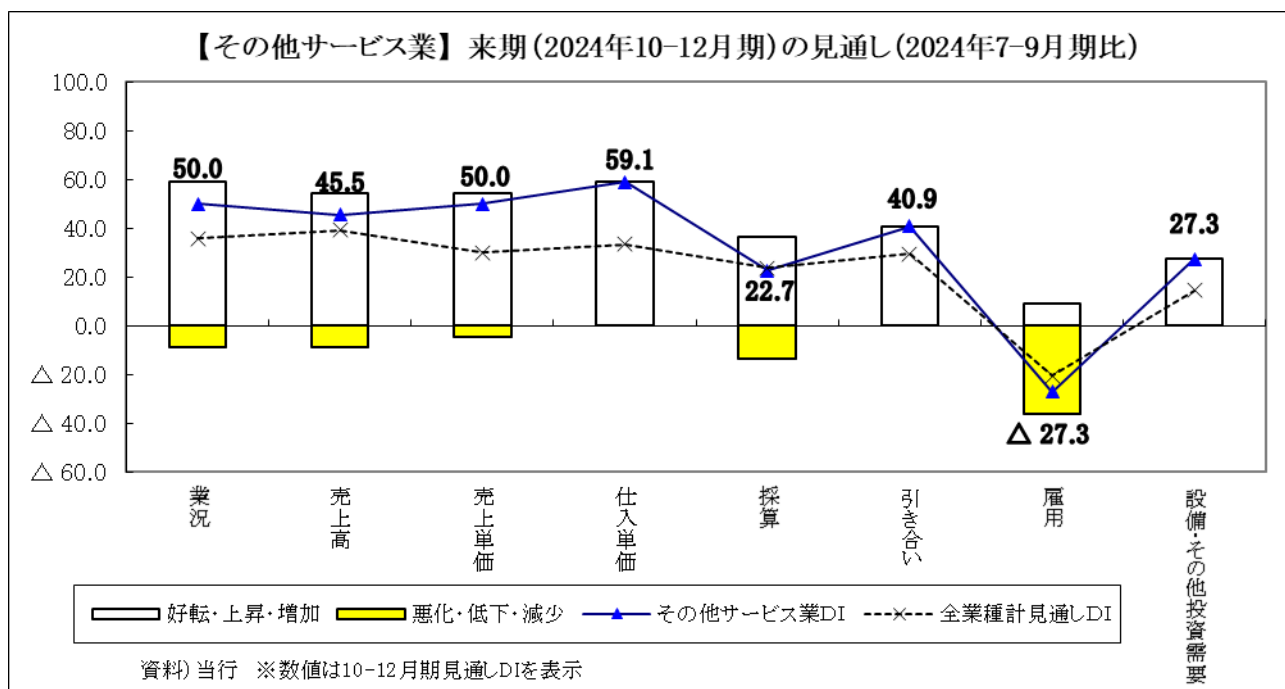
## 8. その他サービス業（ホテル、飲食サービス業、生活関連サービス業、娯楽業など）

（回答企業：22社）

- ▶ 当期の業況 DI(前年同期比)は **68.2** となりました。インバウンド含む観光客増加やイベント開催に伴う人流活性化の影響などから業況改善がみられます。採算(36.4)は価格転嫁の進行がみられます。雇用(△31.8)は、不足感がみられます。その他投資需要(36.4)は、他業種と比較しポイントは高くなっています。

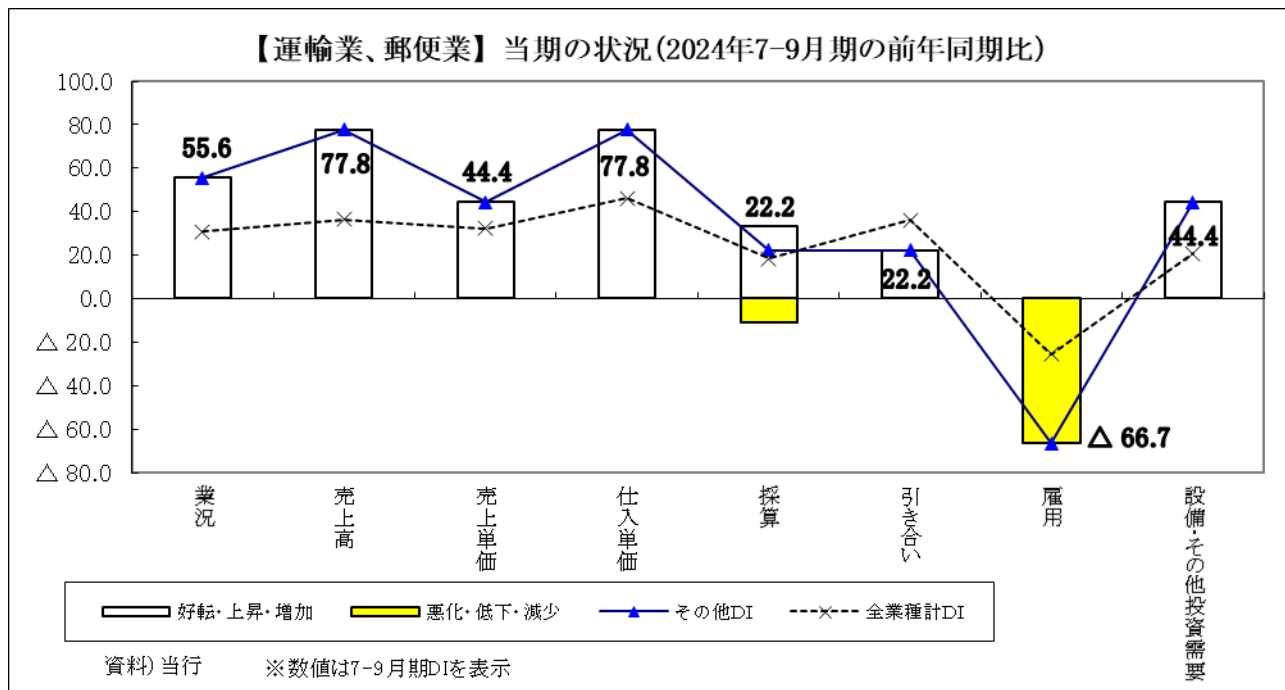


- ▶ 来期の見通し業況 DI(当期比)は **50.0** となり、業況改善の動きが見込まれます。引き続きインバウンド含む観光客増加から改善を見込む事業者がみられます。雇用(△27.3)は不足感が続く見通しとなっています。

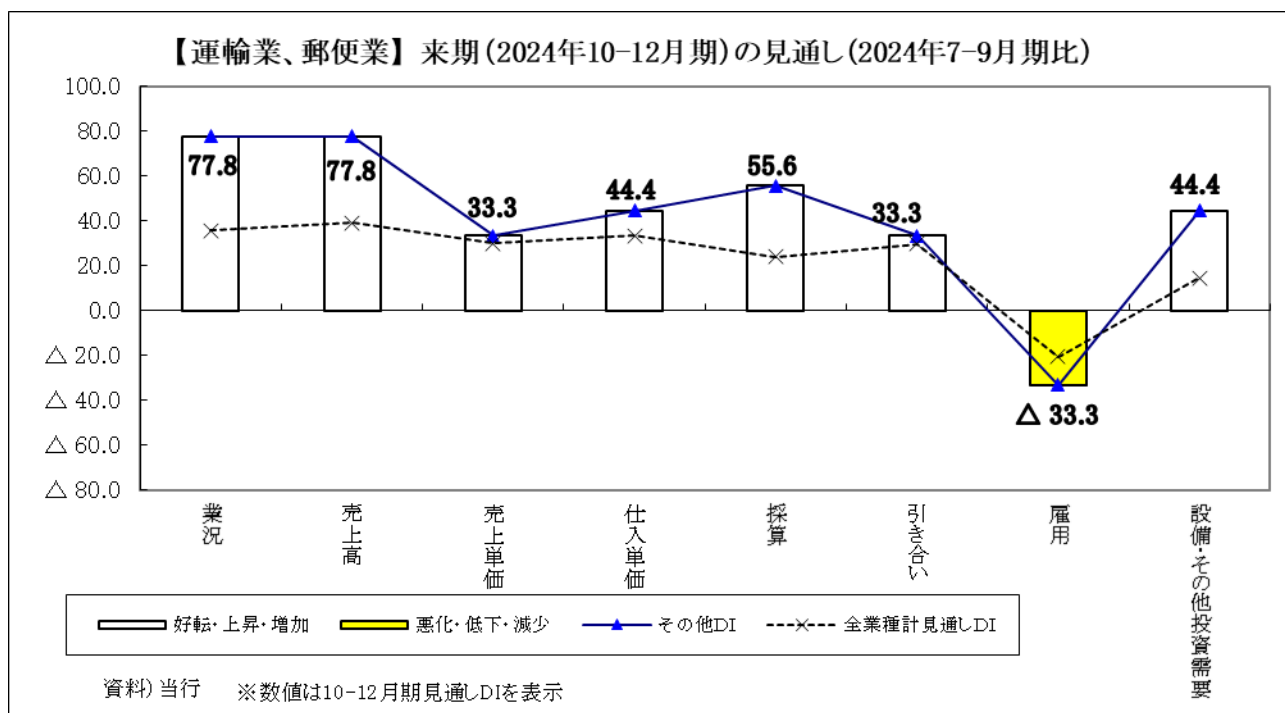


## 9. 運輸業、郵便業（回答企業：9社）

- 当期の業況 DI(前年同期比)は、**55.6** となり業況改善がみられます。タクシーや観光船などの旅客運送業は、観光客増加により改善した事業者がみられます。貨物運送業についても安定した需要がみられます。雇用(△66.7)は大きくマイナスとなっており、ドライバーの不足感がみられます。

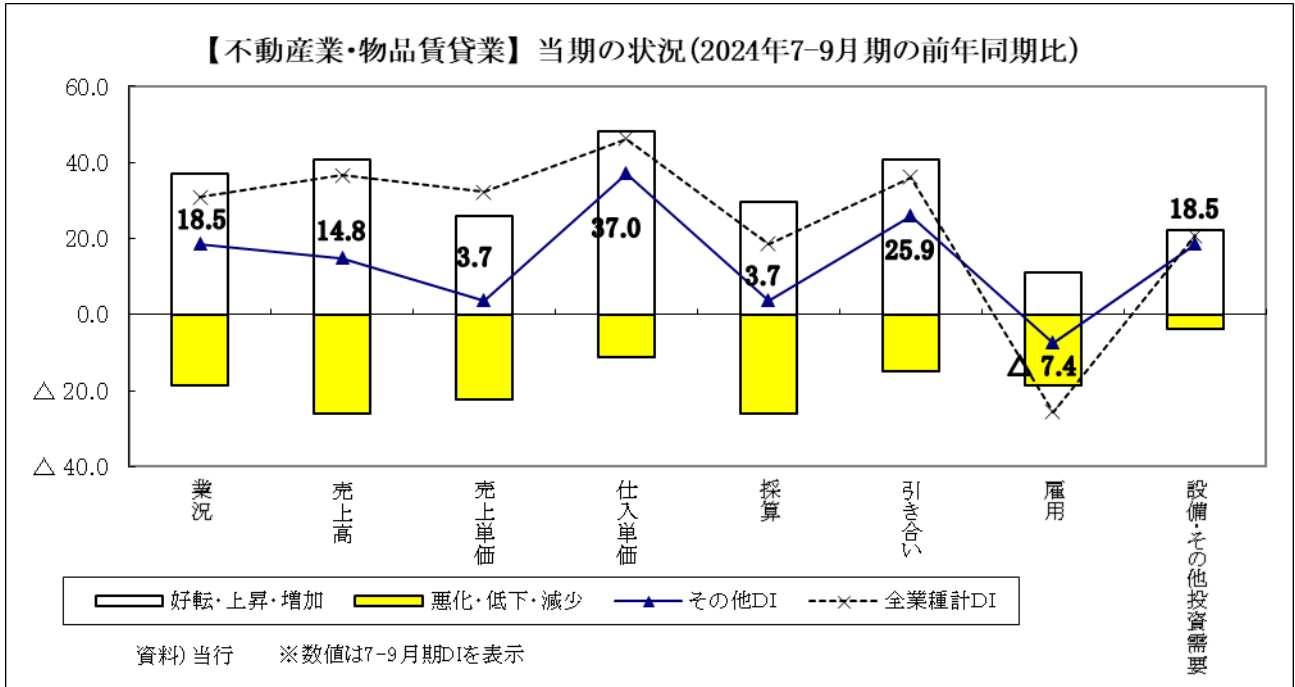


- 来期の見通し業況 DI(当期比)は **77.8** と、業況改善の動きが見込まれています。売上高(77.8)や採算(55.6)などにおいて、悪化を見通す事業者はみられません。雇用(△33.3)は不足感が続く見通しとなっています。

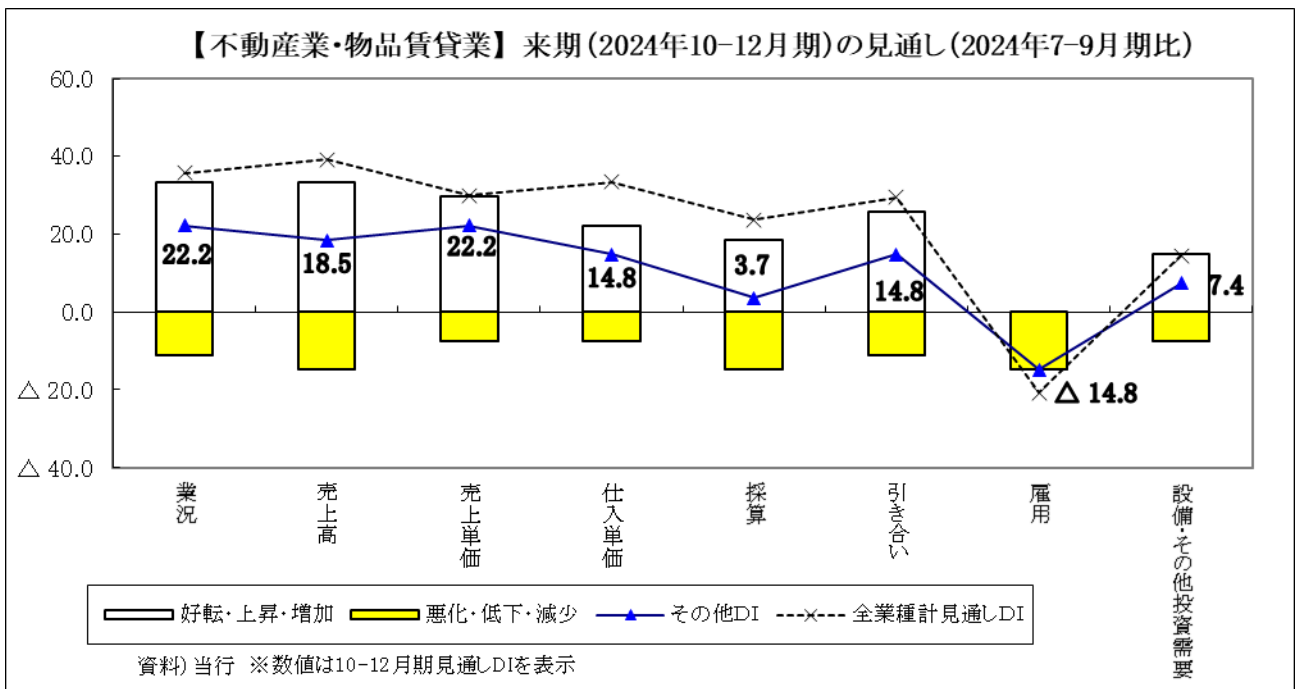


## 10. 不動産業、物品賃貸業（回答企業：27社）

- 当期の業況DI(前年同期比)は18.5となり、業況の改善がみられます。レンタカーなどの物品賃貸業は需要増加による業況の改善がみられます。不動産売買・仲介・賃貸業は同様推移を見込む事業者が多くみられ、一部引き合いが減少している事業者もみられます。



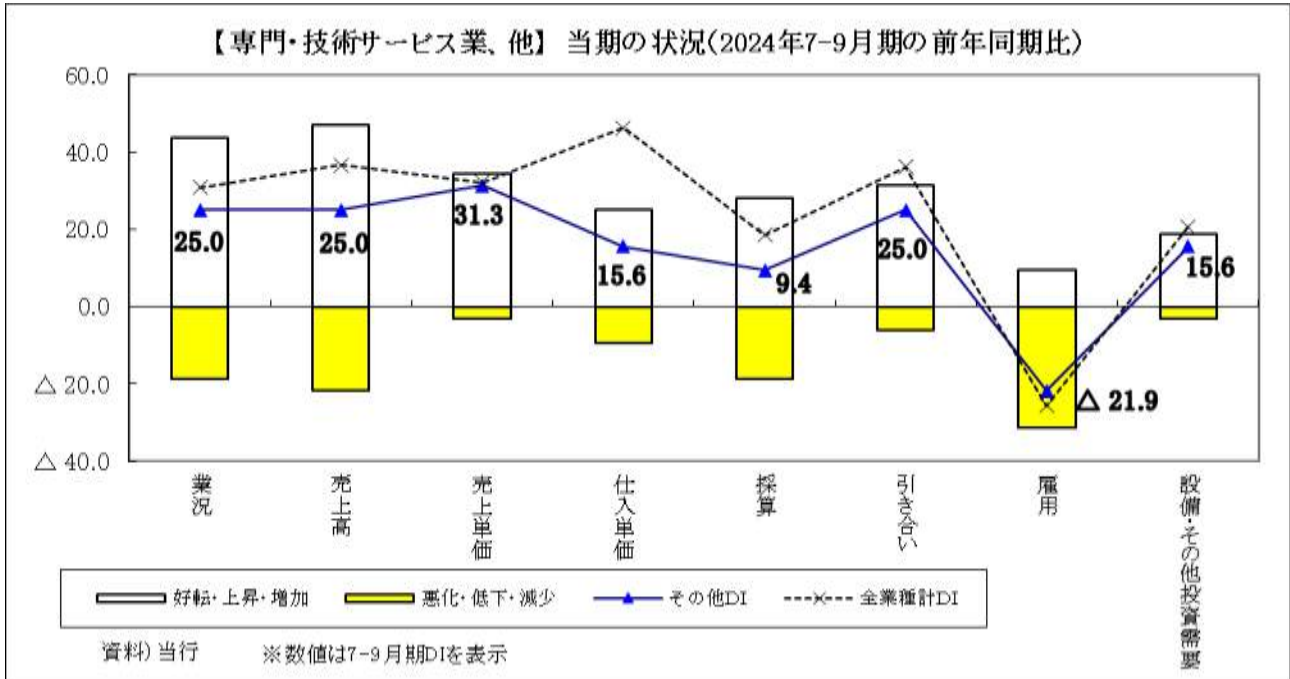
- 来期の見通し業況DI(当期比)は22.2となり業況改善の動きが見込まれます。一方、不動産売買・仲介・賃貸業は引き合いの減少を懸念する事業者も一部みられます。



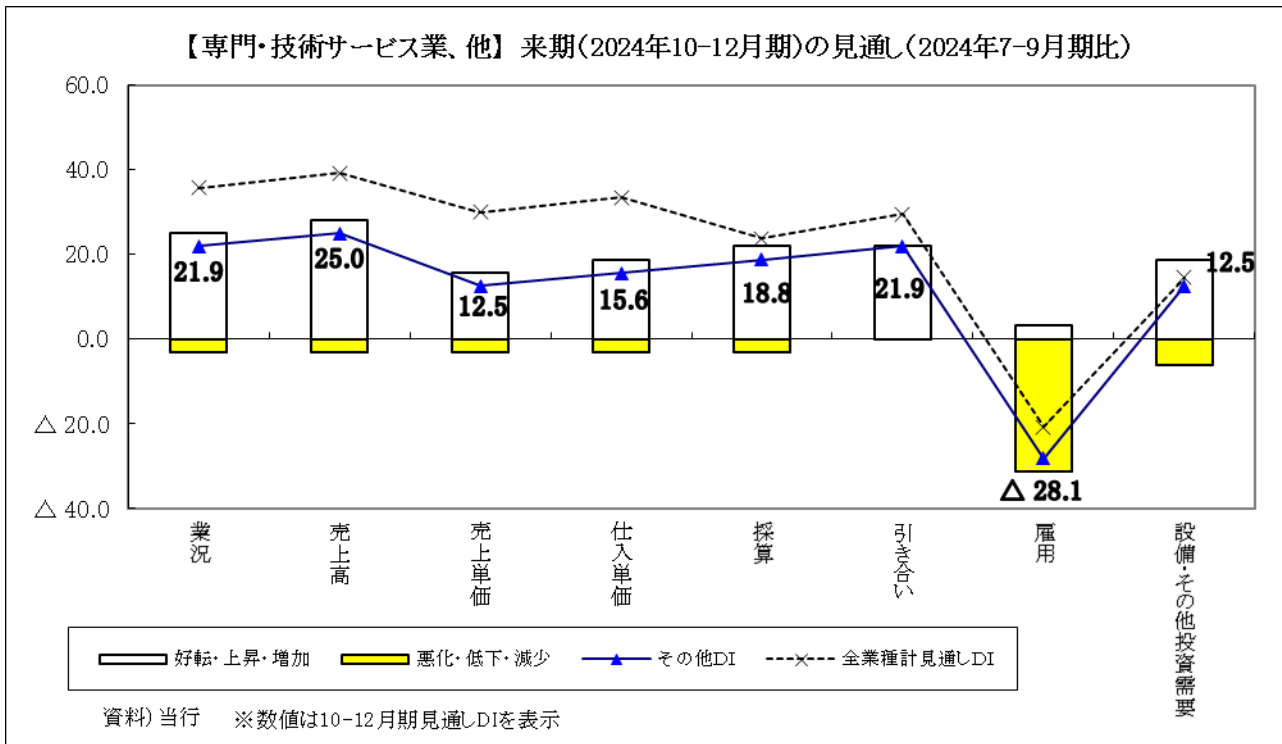


## 11. 専門・技術サービス業、他（回答企業：32社）

- 当期の業況DI(前年同期比)は25.0となり、業況の改善がみられます。産業廃棄物処理業では、建設業者からの依頼増加により業況改善した事業者がみられます。建設コンサルタント業や測量業などは前年同様に推移した事業者が多くみられます。



- 来期の見通し業況DI(当期比)は21.9となり、業況改善の動きが見込まれます。建設コンサルタント業や産業廃棄物処理業など、同様推移を見込む事業者が多くみられます。雇用(△28.1)は、不足感が続く見通しとなっています。



#### IV. 経営上の課題

- DI 調査と合わせて、経営上の課題(3項目選択)について調査を行いました。全体の結果は「売上・シェア拡大」を選択した企業の割合が 21.0%と 1 位になりました。次いで「従業員不足」の 11.7%、「原材料・仕入コスト上昇」の 9.4%、「品質向上(商品・サービス・技術)」の 9.1%、「人材育成・強化」の 8.4%と続いています。
- 経営上の課題は多くの業種で「売上・シェア拡大」が 1 位となっています。一方、土木業や建築業は「技術者不足」、医療・福祉は「人件費・光熱費・その他経費上昇」が 1 位となっています。
- 半年前の調査と比較すると「品質向上(商品・サービス・技術)」や「新製品・新サービス・新事業の開発」の回答が増加し、「原材料・仕入コスト上昇」や「人件費・光熱費・その他経費上昇」が減少しました。

業種	1位	2位	3位	4位	5位
全体	売上・シェア拡大	従業員不足	原材料・仕入コスト上昇	品質向上(商品・サービス・技術)	人材育成・強化
製造業	売上・シェア拡大	原材料・仕入コスト上昇	従業員不足	品質向上(商品・サービス・技術) 新製品・新サービス・新事業の開発	
土木業	技術者不足	売上・シェア拡大	原材料・仕入コスト上昇 従業員不足		人件費・光熱費・その他経費上昇
建築業	技術者不足	売上・シェア拡大	従業員不足	原材料・仕入コスト上昇	人材育成・強化
卸売業	売上・シェア拡大	品質向上(商品・サービス・技術) 原材料・仕入コスト上昇 従業員不足			新製品・新サービス・新事業の開発
小売業	売上・シェア拡大	従業員不足 人材育成・強化		原材料・仕入コスト上昇 財務体質強化、他2項目	
情報通信サービス業	売上・シェア拡大	新製品・新サービス・新事業の開発	従業員不足 技術者不足 余力資金・投資資金不足		
医療・福祉	人件費・光熱費・その他経費上昇	従業員不足	人材育成・強化	売上・シェア拡大	品質向上(商品・サービス・技術)
その他サービス業(宿泊・飲食等)	売上・シェア拡大	品質向上(商品・サービス・技術)	人材育成・強化	原材料・仕入コスト上昇 従業員不足	
運輸業、郵便業	売上・シェア拡大	従業員不足	原材料・仕入コスト上昇 人件費・光熱費・その他経費上昇 財務体質強化		
不動産業、物品賃貸業	売上・シェア拡大	人材育成・強化	品質向上(商品・サービス・技術)	原材料・仕入コスト上昇 余力資金・投資資金不足	
専門・技術サービス業、他	売上・シェア拡大	品質向上(商品・サービス・技術) 従業員不足		人材育成・強化	余力資金・投資資金不足、他1項目

## V. まとめ（総括）

### ➤ 【当期の業況DI】

当期(2024年7-9月期)の業況DIは**30.8**(前年同期比)と12期連続のプラスとなりました。項目別では、売上高や引き合いなどで業況改善がみられます。また、価格転嫁の進行(売上単価の上昇)もみられます。一方、雇用においては不足感がみられます。

業種別では、価格転嫁の進行などにより全業種においてプラスとなっています。【その他サービス業(宿泊・飲食等)】や【土木業】、【運輸業、郵便業】などでポイントは高くなっています。

### ➤ 【来期の見通し業況DI】

来期(2024年10-12月期)の見通し業況DIは**35.7**(当期比)となりました。項目別では、売上高や引き合い、採算などで業況改善の動きが見込まれます。雇用においては不足感が続く見通しとなっています。

業種別では、全業種においてプラスとなっています。【運輸業、郵便業】や【その他サービス業(宿泊・飲食等)】などでポイントは高くなっています。

今後の業況見通しについて、人材不足や原材料・仕入コスト上昇などの懸念は残るものの、全業種に価格転嫁の進行がみられ、引き続き業況の改善が続くと見込まれます。